

鹿児島県（鹿児島市）地域社会少林寺拳法指導者研修会

期 間	平成 28 年 5 月 28 日（土）～29 日（日）
場 所	鹿児島県総合体育センター武道館
参 加 者	51 名（うち中学校教員 1 名）
派遣講師	松井 邦彦 大範士八段 合田 雅彦 正範士七段
地元講師	後藤 正人 大範士八段 鮎川 敏彦 正範士七段

概 要

初日午前中は、鎮魂行を行った後、合田講師による結手・合掌礼・着座の基本諸法の指導があり、その後、突き、蹴り、受けの基本演練の指導が行われた。

午後は、合田講師より中学校武道必修化について、必修化になるまでの流れ、『中学校保健体育少林寺拳法指導の手引』に基づいての授業展開や評価方法の解説が行われ、授業では、楽しく・ケガのないように指導することなど、授業を展開する要点について講義した。

講義の後は、三段以下と四段以上の 2 組に分かれて基本技を中心に技術研修が行われ、最後に団体演武の発表を行い初日の研修を終了した。

2 日目は初めに松井講師より「指導者に向けて」と題して、自身のこれまでの指導経験から、「自信を持って指導をしなければならない、今の技術・指導に対して満足してはダメである」と指導者としての心構えについて講義を行い、その後は、前日同様三段以下と四段以上に分かれての実技指導が行われた。

怪我人等もなく無事に研修会は終了した。

参加者の声

・本研修会に参加し、もっとしっかり基本を学び直し、原理原則にあった技術にしなければならないと再認識した。鹿児島県では、高校での部活動としての少林寺拳法はまだまだ根付いておらず、これを機に中学校で終了してしまう修行ではなく高校でも更に高校卒業後も続けられる環境をつくっていきたい。高校では、高い目標を持たせ、それに見合った環境や技術、思いを伝えられるように、自分も磨いていかなければならないと感じた。（男性 三段）

・今回の研修会に参加して、指導者としての在り方を改めて自分自身に問うことができた。まず、「守・破・離」の守である基本をしっかりと身に付けた上で、更に自分に合った形にすることが、効果的な反撃をするために必要なことだと分かった。

また、中学校の保健体育の武道必修化についての講義も、知らないことが多く、鹿児島県でも少林寺拳法が取り入れてもらえるように働きかけをしていくことも大切だと

思った。(女性 四段)

・合田先生の「中学校武道必修化に向けて」の講義で、全国や県内の武道履修の実態を教えてもらい、改めて普及活動を頑張らないといけないと痛感した。また、松井先生の「指導者に向けて」の講義では、「若い人を育てる」「地域でも職場でも仲間をつくる」という言葉に感銘を受けた。今、スポーツ少年団の開設を目指しているが、とてもいい時期に励みになるよい話を聞くことができた。特に、「これで終わったらだめ」「一生、活かさないといけない」という言葉から、できることを見つけて、一生やり続けることが大事だと思った。(男性 四段)



合田講師による基本諸法の説明



合田講師による武道必修化についての講義



グループ別による団体演武発表



松井講師による講義